



今週の出来事から . . .

今週、心揺さぶられる二つの場面を目にしました。

一つ目は、1年生のけなげな姿に出会ったことです。本校の昇降口の前には、チューリップやヒヤシンスの球根を植えた鉢植えが並んでいます。それは、昨年11月ごろ1年生一人一人が植えたものです。球根は芽を出し、今では大分大きくなりました。寒い冬の間も少しずつ少しずつ成長してきたようです。球根の成長には驚くばかりですが、それとともにそれを手入れしている1年生のけなげな姿にも心を打たれます。校長室の窓からその姿を見るのですが、毎朝、登校し、昇降口に入る前に鉢植えに立ち寄り、球根の成長を確かめ、水やりをしているのです。ほとんど日課となっている子もいます。植物の成長を願っている姿が、1年生一人一人の成長とも重なって、感動しています。4月には、おそらくきれいな花を咲かせてくれることと思います。その時の1年生の喜ぶ姿を想像すると、とても楽しみです。



1年生が育てているチューリップ。
大分成長してきました。

二つ目は、13日の信夫中学校の卒業式です。私は来賓として出席しました。吹奏楽部の演奏による入場に始まり、式は進行しました。卒業証書を受け取る卒業生の凛とした姿、紋付はかまの遠藤校長先生の式辞、来賓の方々のお祝いの言葉、体育館に響き渡る重厚な歌声、旅立ちを祝う在校生の送辞、中学校の思い出と感謝の気持ちを表した卒業生の答辞、どれも素晴らしく、卒業生・在校生は立派でした。そして、その場にいる皆さんを感動させてくれました。

いよいよ来週は、本校6年生の卒業式を迎えます。昨日から全体練習が始まりました。卒業生は、それ以前から入場の仕方・証書の受け取り方・式歌の歌い方・呼びかけ等々を練習しています。式に臨む心構えも指導しています。

卒業式は、今年度最後の学校行事となります。学校全体の締めくくりとして、厳かに、そして、心のこもったものにしたいと思います。